

第9回 ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会 議事要旨

開催日時 : 令和7年12月16日(火) 19:00~20:30
会場 : 教育科学館 研修室
参加者 : 委員 16名
事務局 : 板橋区まちづくり推進室鉄道立体化推進課 6名
事務局補助 : 株式会社日本インシーク 3名
傍聴者 : 4名

1. 開会

2. 会長あいさつ

〔会長〕

本日は大変お忙しい中、第9回ときわ台駅周辺地区まちづくり協議会にご参加いただき、誠に感謝申し上げます。

前回の第8回協議会以降、11月10日に上板橋駅北口周辺地区まちづくり協議会と合同で現場見学会を行い、既にまちづくりが進んでいる下北沢駅周辺と石神井公園駅周辺の視察を行った。本協議会からは12名の方に参加いただき、大変有意義な見学会を実施することができた。また、第3回分科会では、テーマごとにまちづくりの方針について検討を行った。

今回の協議会では、前回までの意見や分科会での検討内容を踏まえ、マスタープラン(案)を取りまとめたいと思う。今後は取りまとめたマスタープラン(案)について、アンケート調査や地域懇談会を通して、地域住民の率直なご意見を伺いたいと考えている。

短い時間ではあるが、皆様から忌憚のないご意見を出し合っていただき、実りのある成果が出来上がるよう、よろしくごお願い申し上げます。

3. 議事

議題

- (1) 今回の内容と今後のスケジュールについて
- (2) 第8回協議会の振り返り
- (3) 合同現場見学会の報告
- (4) 分科会の報告
- (5) ワークショップ：マスタープラン(案)の検討
- (6) まちづくり協議会だより【第5号】の発行に向けて
- (7) アンケート調査【第3回】の実施に向けて
- (8) 第2回地域懇談会の開催に向けて
- (9) その他

- (1) 今回の内容と今後のスケジュールについて
- (2) 第8回協議会の振り返り
- (3) 合同現場見学会の報告
- (4) 分科会の報告
- (5) ワークショップ：マスタープラン（案）の検討

<（株）日本インシークより資料1、2、3について説明>

【意見交換】

マスタープラン（案）全体について

<意見なし>

キャッチフレーズについて

〔委員〕

- ・短く簡潔にした方が良い。

〔委員〕

- ・キャッチフレーズはどこに使われるものなのか。将来的にときわ台のキャッチフレーズとして、ずっと残していくものなのか。それとも今回の資料だけに特化したキャッチフレーズなのか。もし将来的に使っていくキャッチフレーズであれば、短い文章でシンプルに作った方が皆さんも分かりやすいと思う。

〔委員〕

- ・このマスタープランは50年後、100年後のまちづくりのベースになると思う。次世代のことを考えると、やはり明確なキャッチフレーズが重要だと思う。行動に結びつくキャッチフレーズが良い。

私は「だれもが 安心・安全で住みやすく 個性とシンボルがあり なかよく 楽しく暮らせるまち ときわ台」とした。安心・安全が立体化の一番のキーワードだと思う。それがキャッチフレーズに入っていないのはインパクトが弱い。「なかよく」はまちづくりの信条である。「個性とシンボル」の中に、色々なときわ台の特徴が含まれる。天祖神社は、南北問わずまちの歴史である。お祭りのにぎやかさ、人々が交わる親しみのシンボルになっている。天祖神社はキャッチフレーズに入れられないため、「個性とシンボル」に凝縮する。個性がないと、ときわ台の特徴が際立たない。その他にシンボルは、常盤台住宅地や駅舎、日本書道美術館がある。活動範囲に入っていないが、中央図書館もシンボルである。これらをキャッチフレーズとして集約すると「個性とシンボル」になる。今後のアクションに繋がるキャッチフレーズである。全体をまとめるのは重要である。

〔委員〕

- ・このマスタープランだけのキャッチフレーズかもしれないが、長いと覚えられない。安心・安全は当たり前である。キャッチフレーズに載せなくても良いと思う。もっと端的に完結した方が良い。

〔株日本インシーク〕

- ・短くすべきという意見と、ちゃんと詰め込んで明確にすべきという2つの意見がある。

事前配布した事前検討シートに今までの経緯を書いている。何回か協議を重ね、色々出てきた意見を集約する形でA案・B案・C案が出来た。C案の賛成が若干多かったため、C案をベースに進めてきたところである。このような経緯も踏まえた上で、どのようなキャッチフレーズに修正すべきか考えていただけたら良いと思う。

〔委員〕

- ・C案に絞った際に、単なる語呂合わせといった意見があったと覚えているが、事前検討シートの結果をみると6割の方がその語呂合わせでも良いと答えている。残り3割の方々の回答を見ても、語呂合わせになっている回答が多い気がする。語呂合わせの方が分かりやすく、響くと思う。ときわ台をどのように打ち出すかを考えた時に、大半の方が「ときわ台」という言葉を入れることが良いと思っている。私は語呂合わせの方向性で良いと思う。「ときわ台」が入っていると、住んでいる人は覚えやすい。

〔株日本インシーク〕

- ・アンケート調査では、キャッチフレーズの前半部分と最後のおしゃれなまちが結びついていないという意見や、おしゃれなまちではないという意見があった。

〔委員〕

- ・語呂合わせは良いと思うが、語呂合わせするために長くなるのは反対である。

〔株日本インシーク〕

- ・以前の協議会で、短くするためにキャッチフレーズの最後の「ときわ台」を削除するという意見もあった。

〔委員〕

- ・キャッチフレーズの目的は、皆がそれを目標にするという部分や、他人が見て目を引くという部分があると思う。当たり前なキャッチフレーズだとどちらの目的にも合致しないと思う。

語呂合わせは目を引く。おしゃれなまちでないなら、例えば、面白いまち、特別なまち、スマートなまち、趣深いまち、スペシャルなまち、愛らしいまち、かわいいまち、という案がある。現行案でいうと、前半の部分で目を引いて、最後の1行に内容を込める案もあると思う。

〔株日本インシーク〕

- ・今の案は、前半部分は残し、最後の「おしゃれなまち」を別の言葉に変えるという意見だった。

短い方が良いという意見は出ているが、全体的に長い案が多いと思う。そのうちの半数ぐらいが、「ときわ台」の語呂合わせを残している。

〔委員〕

- ・私は「やさしいまち」が良いと思う。「となりどうし きずな深め わだいを共有できる」は、動きが入っていて素晴らしいと思う。その動きの結果として、優しいまちになる。良いイメージで出来上がっていると思う。
もっと特徴的にする方向性もあるかもしれないが、行動が伴っているキャッチフレーズが良いと思う。シンプルに最後を「やさしいまち ときわ台」とする。近所の方々と仲良く過ごせることが一番の幸せだと思う。

〔株日本インシーク〕

- ・以前の協議会でキャッチフレーズは短い方が良いという意見が出た際に、キャッチフレーズの最後の一文だけを省略版とし、例えば表紙のサブタイトルとして使うこともできるという話があった。表紙のサブタイトルに「やさしいまち ときわ台」と入れて、本文に全文を出す方法もある。

〔事務局〕

- ・收拾がつかないため案を絞りたいと思う。「現在のキャッチフレーズがよい」という意見も7件あるが、大体が「現在のキャッチフレーズをベースに修正したほうがよい」という意見と、「新しいキャッチフレーズに変更したほうがよい」という意見の2つに分かれていると思う。そのどちらが良いか挙手していただき、絞ってから検討したいと思うが、いかがか。

〔委員〕

- ・「現在のキャッチフレーズがよい」と「現在のキャッチフレーズをベースに修正したほうがよい」の意見が6割を占めている。どのように分けるのか。

〔事務局〕

- ・どちらの方向性にするか決めてから、その中でどれが良いか決める。

〔委員〕

- ・「現在のキャッチフレーズをベースに修正したほうがよい」は現行案も含まれるという認識であっているか。

〔事務局〕

- ・あっている。

〔委員〕

- ・何のために事前検討シートで意見を書いたのか分からない。約6割が現行案か現行案の修正で良いと答えているのに、また一からやるのか。

〔事務局〕

- ・現行案は、協議会で何回か検討し、最初はA案・B案・C案の3案があったが、その中から皆様の意見でC案に絞られた。その際は「やさしいまち」だったが、その後に検討した結果「おしゃれなまち」に変わり、今に至っている。

〔委員〕

- ・それなら事前検討シートに「新しいキャッチフレーズに変更したほうがよい」の選択肢はいらなかったのではないか。

〔委員〕

- ・キャッチフレーズはなくてもよいのではないか。

〔委員〕

- ・情報は変化していくので、9回も協議会をやっていけば変わることも必然ではないか。

〔委員〕

- ・現行案を活かした方がよいという案が65%で半数を超えている。

〔委員〕

- ・「新しいキャッチフレーズに変更したほうがよい」の選択肢はいらなかったと思う。既にこれまでの協議会でベースは決まってきた。

〔事務局〕

- ・「新しいキャッチフレーズに変更したほうがよい」の選択肢を入れた理由は、皆様の意見でキャッチフレーズに満足されていない方が一定数いることを承知しており、地域住民のアンケート調査でも色々と意見をいただいていたため、「新しいキャッチフレーズに変更したほうがよい」の選択肢を入れた。
ただ、皆様がおっしゃっている通り「現在のキャッチフレーズがよい」と「現在のキャッチフレーズをベースに修正したほうがよい」の意見は合わせて13件の65%で、多数を占めていることが分かった。

〔株日本インシーク〕

- ・よろしければ「現在のキャッチフレーズをベースに修正したほうがよい」の方向で進め、「新しいキャッチフレーズに変更したほうがよい」の意見でいただいたキーワードを現行案に反映することを検討する。

〔委員〕

- ・現行案の最後の「おしゃれなまち」だけが変更になる。

〔委員〕

- ・アンケート調査でおしゃれなまちではないと言われている。「防災」や「安心・安全」、「文化の継承」といった文言に修正するのが良いのではないか。

〔委員〕

- ・全体的に「安心・安全」という言葉が多いようなので、それで良いのではないか。

〔委員〕

- ・「安心・安全」は当たり前だが、当たり前のことが難しい。「やさしいまち ときわ台」というフレーズを入れても良いと思う。

〔委員〕

- ・それらを総称して「住みやすいまち」でも良いのではないか。

〔委員〕

- ・マスタープランにはテーマ5つあるが、キャッチフレーズに5つの言葉がバランスよく入っていない。テーマ2の「人と人がつながり」だけが入っていて、キャッチフレーズとテーマがかけ離れてしまっていると思う。

〔事務局〕

- ・キャッチフレーズは現行案か、もしくは現行案をベースに修正という方向で、例えば「やさしいまち」にして、色々出てきたキーワードを表紙のサブタイトルに入れるのはどうか。

〔委員〕

- ・キャッチフレーズはポスター等で使う訳ではなく、マスタープランのキャッチフレーズとして使われるだけか。

〔事務局〕

- ・マスタープランは、皆様が作った資料として今後もずっと残っていくものになる。今後、区のホームページでもアップする予定である。

〔委員〕

- ・ホームページには、マスタープランで決まったものがアップされるのか。

〔事務局〕

- ・そうである。最終的に区に提言いただいた後にホームページにアップする。資料自体は地域住民が作ったものとして残る。

〔委員〕

- ・ホームページでもキャッチフレーズがアップされる。キャッチフレーズはなくてはいけないものか。

〔事務局〕

- ・ときわ台を表すまちのイメージとして、キャッチフレーズがあった方がよい。協議会の皆様はまちづくりに関して検討していただいているため、興味のある方が多いと思うが、関心のない方にもまちづくり協議会だよりは全戸配布して周知している。興味を引くキャッチフレーズが出来れば良いと思っている。

〔委員〕

- ・「やさしいまち ときわ台」は、「安心・安全なまち」や「文化を継承できるまち」「美しい緑のまち」といったところにブレイクダウンできると思う。全てを入れると分かりづらい。「やさしいまち」とは何かと聞かれた時に、それは「安心安全なまち」「文化を継承できているまち」「美しい緑の景観のまち」ということでブレイクダウンできる。

〔株日本インシーク〕

- ・「おしゃれなまち」を「やさしいまち」に変えるという意見だが、他の方はいかがか。

〔委員〕

- ・「安心・安全」をサブタイトルに入れるのも、良いと思う。

〔委 員〕

- ・語呂合わせであるが良いと思う。スタンダードな形にすると誰も気にしない。

〔株日本インシーク〕

- ・「やさしいまち」でよろしいか。

＜委員の過半数が賛成＞

〔株日本インシーク〕

- ・賛成が多数ということで「やさしいまち」とする。賛成していない方もいらっしゃるが、ご理解いただけたらと思う。

表紙（案）について

〔委 員〕

- ・別紙1（写真）が一番分かりやすい。

〔株日本インシーク〕

- ・他の案に写真を入れることもできる。

〔委 員〕

- ・写真はこれで決定なのか。

〔株日本インシーク〕

- ・イメージで仮の写真を入れている。

〔委 員〕

- ・別紙2に写真を入れる方法もある。

〔委 員〕

- ・写真はあった方が良い。

〔株日本インシーク〕

- ・写真は入れる方向で良いか。

＜委員一同賛成＞

〔株日本インシーク〕

- ・先程、別紙2に写真を入れる方法もあるという意見があったが、いかがか。

〔委 員〕

- ・駅舎の写真は南口の方が良い。

〔株日本インシーク〕

- ・写真をベースとし、デザインについては事務局で検討させていただく。

委員名簿の記載について

〔事務局〕

- ・マスタープランに委員名簿として氏名を記載したいと考えているが、よろしいか。

〔委 員〕

- ・ホームページにも載るのか。

〔事務局〕

- ・ホームページからは外すかもしれない。

〔委員〕

- ・マスタープランには載せるが、公に常時公開されているものには載せない。

〔事務局〕

- ・その通りである。

〔委員〕

- ・マスタープランに載るのは良いと思う。

〔事務局〕

- ・マスタープランの完成後、正式な冊子にしたものには名簿が載るということで良
いか。

〔委員〕

- ・その冊子は、東京都や東武鉄道に説明する際に出てくるのか。

〔事務局〕

- ・出来上がった冊子は、関係者に配る。

〔委員〕

- ・不特定多数が来るところで、配ることはないということか。

〔事務局〕

- ・そうである。

<委員一同了承>

協議会活動写真の記載について

〔事務局〕

- ・マスタープランに協議会の活動風景の写真に記載したいと考えている。なるべく
引きであまり顔が映らない写真とする予定である。よろしいか。

<委員一同了承>

(6) まちづくり協議会だより〔第5号〕の発行に向けて

(7) アンケート調査〔第3回〕の実施に向けて

(8) 第2回地域懇談会の開催に向けて

<事務局より資料1、4、5について説明>

(9) その他

4. 閉会